

伊賀流手裏剣打選手権～子どもの部～

年齢別に競技を行う。未就学児（4歳～6歳）の部、小学校低学年（1年生～3年生）の部、小学校高学年（4年生～6年生）の部

ルール

1. 的に向かって一礼する。
2. 審判員から1枚ずつ金属製手裏剣を受け取り、定められた位置から素手にて合計5枚を打ち込む。
3. 的に一礼し退場する。
4. 1～3までの所要時間は60秒、超えた場合は失格となる。

的までの距離

- ・ 未就学児（4歳～6歳） 2.5m
- ・ 小学校低学年（1年生～3年生） 3m
- ・ 小学校高学年（4年生～6年生） 3.5m

採点方法

- ・ 的に刺さった手裏剣位置の得点を合計したものを的中点数とする。（的に中心から50点、40点、30点、20点、10点、圏外は0点。最高得点は250点）
- ・ 的に刺さらず落下した場合には得点としない。
- ・ 的に刺さっていた手裏剣が競技中に落下した場合、落下した手裏剣の得点は無効とする。（5打終了後に的に刺さっていない手裏剣は得点としない。）
- ・ 手裏剣の刃先が2カ所にまたがって刺さっていた場合は高い方の得点を有効とする。
- ・ その他判定に矛盾や疑義、不測の的中が生じた場合は、審判員が相談して判定し採点する。

減点、加点対象

- ・ 礼をしなかった：-5点×2回（前後）
- ・ 投擲ラインを越えた：1回につき-10点
- ・ 礼儀に欠ける行為をした：審判員の裁量により減点もしくは失格
- ・ 忍者衣装もしくはそれに準ずる和装衣装を着用：+10点
（普段着での参加は可能ですが加点はございません）

安全対策と注意

- ・ 競技者や関係者等は、手裏剣の安全な取り扱いに充分留意し、自己や他人を傷付けないようにすること。
- ・ 競技中には、手裏剣が的に跳ね返り慮外の方向へ飛んだり、誤ってのとは異方向に打たれる場合があるため、競技中は、競技者、見学者、関係者等は厳重に注意を怠らないこと。
- ・ 競技中は、奇声や誹謗中傷等の不要な掛声を発しないこと。
- ・ 競技者、関係者、見学者共に、競技を妨害したり、迷惑な行為を行ったりした場合は、主催者の判断により会場より退去していただくものとする。